

平成18年度占冠村バランスシート

平成18年度普通会計決算に基づくバランスシートを公表します。

○バランスシート（BS）とは

貸借対照表（BSとも表記される）のことで、ある一定期間における財政状態を示す計算書類。左側（借方）に資産を記載し、右側（貸方）に負債と資本が記載されます。企業の資本にあたるのが自治体のバランスシートでいう正味資産となります。資産合計（借方）＝負債・正味資産合計（貸方）と表示されることからバランスシート（BS）といいます。

○作成にあたって

- ①普通会計を対象として、昭和44年度から決算データを集計し、総務省方式で作成。
※普通会計とは一般会計に自動車会計、村立トマム診療所会計を加えたもの。
- ②決算統計データを取得原価として採用。
- ③流動・固定の区分は1年基準によること。
- ④作成基準日は3月31日とし、出納閉鎖期間も含め作成。

○社会資本形成の世代間負担

社会資本整備の結果を示す有形固定資産のうち、その財源が正味資産によるものか、負債によるものかの依存割合をみることで、世代間負担の比率を判断することができます。

正味資産による整備の割合とは、これまでの世代によって既に負担された割合であり、一方、負債による整備の割合とはこれからの世代が負担していく割合を示しています。

■これまでの世代が負担してきた社会資本の比率（％）

※算出方法～『正味資産合計÷有形固定資産合計』

正味資産合計 8,791,786 ÷ 有形固定資産合計 10,510,804 = 83.6%

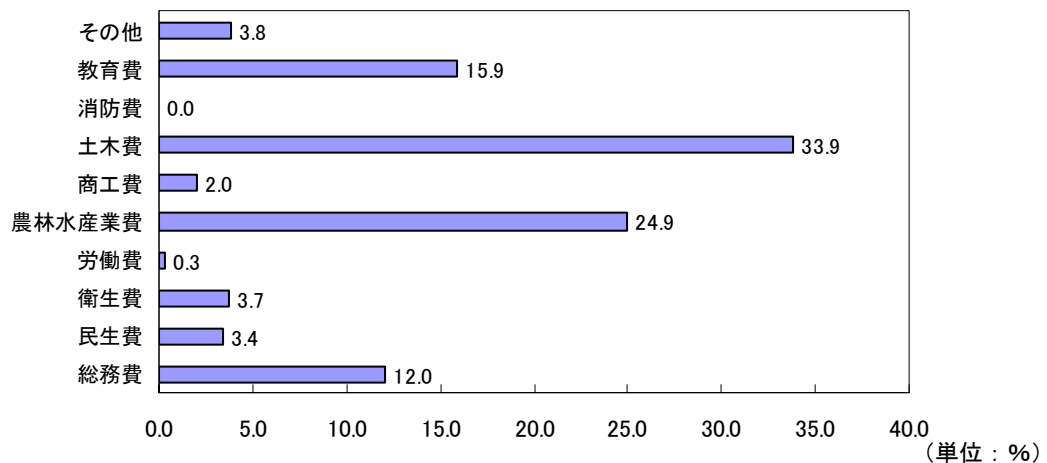
■これからの世代が負担していく社会資本の比率（％）

※算出方法～『負債合計÷有形固定資産合計』

負債合計 3,286,494 ÷ 有形固定資産合計 10,510,804 = 31.2%

○有形固定資産の行政目的別割合

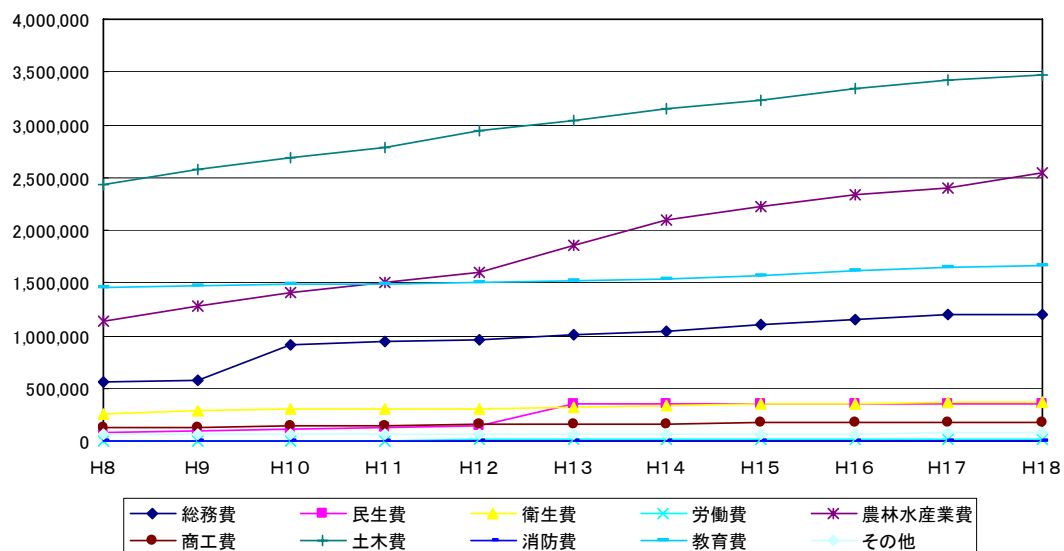
有形固定資産の行政目的別割合をみることにより、行政分野ごとの資産形成の比重を把握することができ、今後の資産整備の方向性を検討するにあたって有用なデータとなります。このデータをもとに地方公共団体と比較することで、その団体の資産形成のウエイトを見比べることが可能となり、どの分野に重点を置いているのかをみることができます。



総務費	民生費	衛生費	労働費	農林水産業費	商工費	土木費	消防費	教育費	その他
12.0	3.4	3.7	0.3	24.9	2.0	33.9	0.0	15.9	3.8

○有形固定資産の行政目的別経年変化

行政目的別有形固定資産の変化を経年で比較してみることで、どの分野の社会資本が重点的に整備されてきたかをみることができます。



○村民1人あたりのバランスシート

通常のバランスシートでは地方公共団体の人口規模等により単純な団体間比較が困難ですが、バランスシートの各項目ごとの数値を人口（平成19年3月31日現在の住民基本台帳人口）で割り返し計算することで、単純な比較が可能となります。

○住民1人当たりの社会資本形成（有形固定資産）＝ 7,633千円
 ○住民1人当たりの負債額（負債合計）＝ 2,387千円

バランシート

平成19年3月31日現在

借 方		貸 方	
【資産の部】		【負債の部】	
1 有形固定資産		1 固定負債	
(1) 総務費	1,261,215	(1) 地方債	2,435,487
(2) 民生費	360,488		
(3) 衛生費	388,976	(2) 債務負担行為	
(4) 労働費	35,787	① 物件の購入等	0
(5) 農林水産業費	2,621,181	② 債務保証又は損失補償	0
(6) 商工費	209,576	債務負担行為計	0
(7) 土木費	3,557,361		
(8) 消防費	2,993	(3) 退職給与引当金	563,119
(9) 教育費	1,669,251		
(10) その他	403,976	(4) その他	0
計	10,510,804		
(うち土地)	582,154	固定負債合計	2,998,606
有形固定資産計	10,510,804		
2 投資等		2 流動負債	
(1) 投資及び出資金	123,422	(1) 翌年度償還予定額	287,888
(2) 貸付金	190,957		
(3) 基金		(2) 翌年度繰上充当額	0
① 特定目的基金	427,350		
② 土地開発基金	65,067	(3) その他	0
③ 定額運用基金	0		
基金計	492,417	流動負債合計	287,888
(4) 退職手当組合積立金	36,246		
		負債合計	3,286,494
投資合計	843,042		
3 流動資産		【正味資産の部】	
(1) 現金・預金		1 国庫支出金	1,197,174
① 財政調整基金	306,404		
② 減債基金	189,636	2 都道府県支出金	1,118,355
③ 歳計現金	55,618		
現金・預金計	551,658	3 一般財源等	6,476,257
(2) 未収金			
① 地方税	160,627	正味資産合計	8,791,786
② その他	12,149		
未収金計	172,776		
流動資産計	724,434		
資産合計	12,078,280	負債・正味資産合計	12,078,280

※債務負担行為に関する情報

① 物件の購入等	397,599 千円
② 債務保証及び損失補償	195,300 千円
③ 利子補給等に係るもの	0 千円

村民１人あたりのバランスシート

平成19年3月31日現在

平成19年3月31日現在人口 1,377 人

借 方		貸 方	
【資産の部】		【負債の部】	
1 有形固定資産		1 固定負債	
(1) 総務費	916	(1) 地方債	1,769
(2) 民生費	262		
(3) 衛生費	282	(2) 債務負担行為	
(4) 労働費	26	①物件の購入等	0
(5) 農林水産業費	1,904	②債務保証又は損失補償	0
(6) 商工費	152	債務負担行為計	0
(7) 土木費	2,583		
(8) 消防費	2	(3) 退職給与引当金	409
(9) 教育費	1,212		
(10) その他	293	(4) その他	0
計	7,633		
(うち土地)	423	固定負債合計	2,178
有形固定資産計	7,633		
2 投資等		2 流動負債	
(1) 投資及び出資金	90	(1) 翌年度償還予定額	209
(2) 貸付金	139		
(3) 基金		(2) 翌年度繰上充当額	0
①特定目的基金	310		
②土地開発基金	47	(3) その他	0
③定額運用基金	0		
基金計	358	流動負債合計	209
(4) 退職手当組合積立金	26		
		負債合計	2,387
投資合計	612		
3 流動資産		【正味資産の部】	
(1) 現金・預金			
①財政調整基金	223	1 国庫支出金	869
②減債基金	138		
③歳計現金	40	2 都道府県支出金	812
現金・預金計	401		
(2) 未収金		3 一般財源等	4,703
①地方税	117		
②その他	9	正味資産合計	6,385
未収金計	125		
流動資産計	526		
資産合計	8,771	負債・正味資産合計	8,771

※債務負担行為に関する情報

①物件の購入等	289 千円
②債務保証及び損失補償	142 千円
③利子補給等に係るもの	0 千円

バランスシート

平成19年3月31日現在

資産とは、1会計年度を越えるもので、
経常資源として用いられる見込まれるもの
とされ、消耗品等は除きます。

負債とは、将来に支払や返済の義務があるものをい
います。1年以内に支払期限が到来するものは「流動資
産」といい、それ以外を「固定資産」といいます。

借 方	貸 方
【資産の部】	【負債の部】
1 有形固定資産	1 固定負債
(1) 総務費 1,261,215	(1) 地方債 2,435,487
(2) 民生費 360,488	(2) 債務負担行為
(3) 衛生費 388,976	① 物件の購入等 0
(4) 労働費 35,787	② 債務保証又は損失補償 0
(5) 農林水産業費 2,621,181	債務負担行為計 0
(6) 商工費 209,576	(3) 退職給与引当金 563,119
(7) 土木費 3,557,361	(4) その他 0
(8) 消防費 2,993	固定負債合計 2,998,606
(9) 教育費 1,669,251	2 流動負債
(10) その他 403,976	(1) 翌年度償還予定額 287,888
計 10,510,804	(2) 翌年度繰上充当額 0
(うち土地) 582,154	(3) その他 0
有形固定資産計 10,510,804	流動負債合計 287,888
2 投資等	負債合計 3,286,494
(1) 投資及び出資金 123,422	2 流動負債
(2) 貸付金 190,957	(1) 翌年度償還予定額 287,888
(3) 基金	(2) 翌年度繰上充当額 0
① 特定目的基金 427,350	(3) その他 0
② 土地開発基金 65,067	流動負債合計 287,888
③ 定額運用基金 0	負債合計 3,286,494
基金計 492,417	正味資産は、民間会計の「資本」や「持分」相当するもので、村の場合は営利活 動を目的にしているため「正味資産」として記入しています。
(4) 退職手当組合積立金 36,246	【正味資産の部】
投資合計 843,042	1 国庫支出金 1,197,174
3 流動資産	2 都道府県支出金 1,118,355
(1) 現金・預金	3 一般財源等 6,476,257
① 財政調整基金 306,404	正味資産合計 8,791,786
② 減債基金 189,636	資産合計より、固定負債、流動負債、国庫支出金、道支出金 を差し引いた残額を「一般財源」として記入しています。
③ 歳計現金 55,618	負債・正味資産合計 12,078,280
現金・預金計 551,658	
(2) 未収金	
① 地方税 160,627	
② その他 12,149	
未収金計 172,776	
流動資産計 724,434	
資産合計 12,078,280	

※債務負担行為に関する情報

固定負債の債務負担行為に該当しない債務負担行為は「欄外注記」として
記入します。これは決算統計のデータを基に記入しています。「債務保証及
び損失補償」については実際に債務が確定していないため、この全額を負
担することではありません。

① 物件の購入等	397,599 千円
② 債務保証及び損失補償	195,300 千円
③ 利子補給等に係るもの	0 千円

村民 1 人あたりのバランスシート

平成 19 年 3 月 31 日現在

平成 19 年 3 月 31 日現在人口 1,377 人

資産とは、1 会計年度を越えるもので、経常資源として用いられる見込まれるものとされ、消耗品等は除きます。

負債とは、将来に支払や返済の義務があるものをいいます。1 年以内に支払期限が到来するものは「流動資産」といい、それ以外を「固定資産」といいます。

地方債の残高から翌年度（平成 19 年度）に償還する元金償還額（流動負債）を控除して記入しています。

PFI 等の手法により物件等の引渡しを受けたものが対象となります。本村には実績ありません。

年度末に全職員が退職した場合に支払われる退職金所要額を記入しています。

地方債の年度末残高のうち、翌年度（平成 19 年度）に償還予定の換金償還額を記入しています。

正味資産は、民間会計の「資本」や「持分」相当するもので、村の場合は営利活動を目的にしているため「正味資産」として記入しています。

有形固定資産の取得・形成に用いられた国からの補助金を試算区分に応じて減価償却して記入しています。

有形固定資産の取得・形成に用いられた道からの補助金を試算区分に応じて減価償却して記入しています。

資産合計より、固定負債、流動負債、国庫支出金、道支出金を差し引いた残額を「一般財源」として記入しています。

※債務負担行為に関する情報

固定負債の債務負担行為に該当しない債務負担行為は「欄外注記」として記入します。これは決算統計のデータを基に記入しています。「債務保証及び損失補償」については実際に債務が確定していないため、この全額を負担することではありません。

①物件の購入等	289 千円
②債務保証及び損失補償	142 千円
③利子補給等に係るもの	0 千円

借 方	
【資産の部】	
1 有形固定資産	
(1) 総務費	916
(2) 民生費	262
(3) 衛生費	282
(4) 労働費	26
(5) 農林水産業費	1,904
(6) 商工費	152
(7) 土木費	2,583
(8) 消防費	2
(9) 教育費	1,212
(10) その他	293
計	7,633
(うち土地)	423
有形固定資産計	7,633
2 投資等	
(1) 投資及び出資金	90
(2) 貸付金	139
(3) 基金	
①特定目的基金	310
②土地開発基金	47
③定額運用基金	0
基金計	358
(4) 退職手当組合積立金	26
投資合計	612
3 流動資産	
(1) 現金・預金	
①財政調整基金	223
②減債基金	138
③歳計現金	40
現金・預金計	401
(2) 未収金	
①地方税	117
②その他	9
未収金計	125
流動資産計	526
資産合計	8,771

貸 方	
【負債の部】	
1 固定負債	
(1) 地方債	1,769
(2) 債務負担行為	
①物件の購入等	0
②債務保証又は損失補償	0
債務負担行為計	0
(3) 退職給与引当金	409
(4) その他	0
固定負債合計	2,178
2 流動負債	
(1) 翌年度償還予定額	209
(2) 翌年度繰上充当額	0
(3) その他	0
流動負債合計	209
負債合計	2,387
【正味資産の部】	
1 国庫支出金	869
2 都道府県支出金	812
3 一般財源等	4,703
正味資産合計	6,385
負債・正味資産合計	8,771